

計議第331号議案

京都都市計画(京都国際文化観光都市建設計画)

地区計画の変更(京都市決定)

(佛教大学広沢地区地区計画)

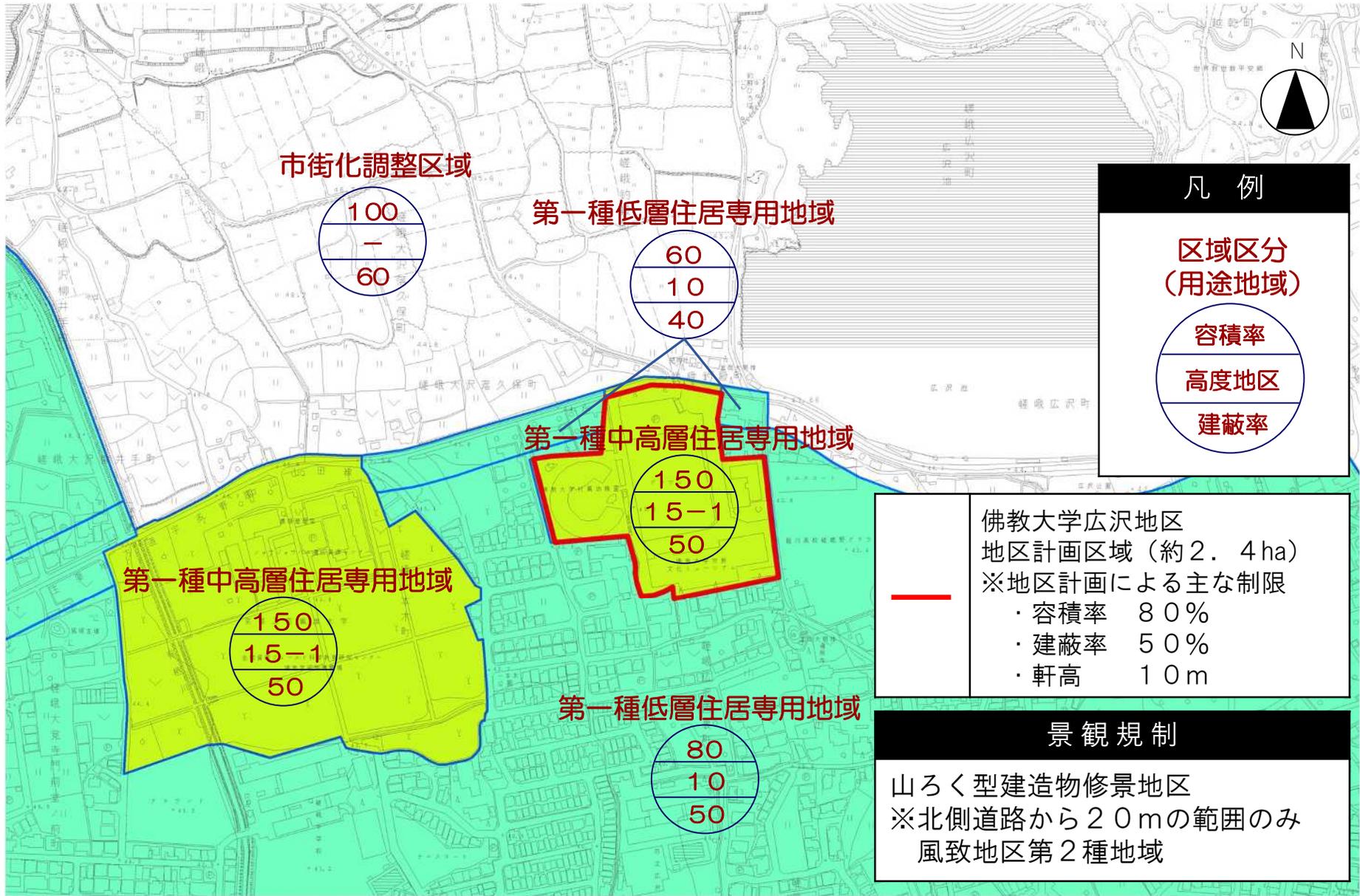
令和4年11月
京都市

1 地区の概要



- ・面積 約2.4ha
- ・嵯峨地区のほぼ中心部に位置し、東側には広沢池、西側には大覚寺が控え、住宅地が隣接している。

2 都市計画(用途地域等)の概要



3 佛教大学広沢地区におけるこれまでの経過

- 昭和42年 3月 佛教大学広沢グラウンドとして使用開始

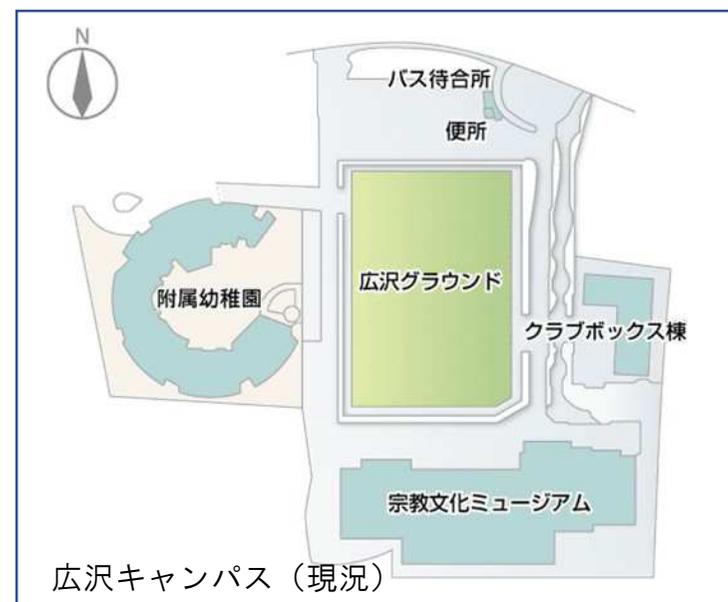
- 昭和51年 4月 附属幼稚園を開設

- 平成 9年 2月 附属幼稚園の老朽化に伴い建替え

- 平成12年 3月 「佛教大学広沢地区地区計画」 決定

建築物の用途を大学関連施設と幼稚園に限定することにより、用途の混在による環境の悪化を防止するとともに、周辺の居住環境や自然環境と調和した施設を誘導。

- 平成16年 3月
アジア宗教文化情報研究所 竣工
(現 宗教文化ミュージアム)



4 佛教大学広沢地区における取組

[佛大Vision 2022] (H24策定)に基づき取組を推進

※以下基本方針の一部を抜粋

社会の要請や時代のニーズを的確にキャッチしながら、100年にわたって、培ってきた大学の伝統と蓄積を活かし、必要な改組改編あるいは学部学科の新設などを通じて教育の充実を図り、学生が真に実力を向上させることができる教育体制を構築します。

・教育環境の充実

現代の保育ニーズに応えられる幼稚園教諭、保育士の養成

・地域社会への貢献

保護者からの多様な保育に対するニーズへの対応

「**幼児教育学科**」開設
(R4.4)

「**幼保連携型認定こども園**」
へ移行(予定)

5 都市計画マスタープランにおける位置付け

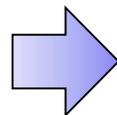
○京都の魅力を高める土地利用

⇒学術研究機能の維持・充実のため施設整備の支援

○多様な住まい方を選択できる土地利用

⇒地域のニーズに応じた商業施設や病院、保育施設、ワークスペースなどの身近な生活圏で暮らしを支える多様な機能の充実

地区計画の変更



- ・ **学術研究機能の充実**
- ・ **地域の保育環境の充実**

6 佛教大学広沢地区地区計画の変更点①

■ 地区計画の目標

変更

■ 区域の整備、開発 及び保全に関する方針

■ 地区整備計画

建築物等

①用途の制限

変更

②容積率の最高限度

③建蔽率の最高限度

④高さの最高限度

⑤壁面の位置の制限

⑥垣又は柵の構造の制限

6 佛教大学広沢地区地区計画の変更点②

■ 地区計画の目標 変更

当地区は、京都市嵯峨地区のほぼ中心部に位置し、東側に広沢池、西側には大覚寺が控える風光明媚な場所である。当地区には、佛教大学教育学部の施設が立地しており、主として幼児・初等教育に携わる人材の育成が行われている。

当地区において、建築物及び土地利用に対する規制・誘導を行うことにより、周辺環境との調和を念頭におきつつ、**学術研究機能**及び幼児・初等教育者の育成機能並びに**地域の保育環境**の更なる充実を図る。

6 佛教大学広沢地区地区計画の変更点③

■ 地区整備計画

□ 建築物等の用途の制限 **変更**

「保育所」と「幼稚園」からなる「幼保連携型認定こども園」を建築できる用途にするため、「保育所」を追加する。

現 行	変更後
建築できる用途 1 大学 2 幼稚園 3 上記建築物に附属する建築物	建築できる用途 1 大学 2 幼稚園 3 保育所 4 上記建築物に附属する建築物